

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
パステルアート（あさがお）	中	びじゅつ Ⅱグループ (美術)	森永彩未

<ねらい>

- 手順を理解して取り組むことができる。
- 指先でパステルの粉を伸ばしたり、消しゴムを使って模様を描いたりすることができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ② パステル（赤、青、黄緑、緑、水色）を金網で削って、粉状にする。
- ② 指先にパステルの粉をつけ、あさがおの花を、○を描くように大きく描く。
(赤と青一つずつ。)
- ③ 指先にパステルの粉をつけ、葉を描く。
(黄緑で描いた上に緑色のパステルを重ねる。)
- ④ 黄緑、緑色の削ってない棒状のパステルでツルを描く。
- ⑤ スティックの消しゴムで、花の模様を描く。花の中央に○、×を描く。
- ⑥ あさがおに重ならないように、背景の色をつける。(パステルの粉を指先につけて)



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 手本を見せながら、取り組むことで、ほとんどの生徒が理解して取り組むことができた。花の輪郭を描くときに、「ぐるぐる。」と言葉かけを聞くと、花の形を丸く描くことができた。
- パステルの粉を紙の上に削るとき、飛び散ったり、広範囲に削ってしまったりするため、扇風機をとめたり、紙に枠を書いておいたりするなどの注意が必要。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- パステル（18色）、金網（料理用のあく取り）、白い紙（パステルの粉を置く用）、画用紙など すべてダイソー